

アサヒフロン-22の水分溶解度

アサヒフロンは化学構造的に非極性のため、非極性材料を良く溶かし、極性材料をあまり溶かさない傾向があります。
すなわち、極性の強い水、アルコールに対する溶解性は非常に小さいですが、極性の弱い冷凍機油は比較的良く溶解します。

飽和状態におけるアサヒフロン-22に対する飽和水分溶解度

温度℃	飽和水分溶解度 (mgH ₂ O/kgR-22)		気液両相における水分含有比
	飽和蒸気	飽和液体	
-40	25	120	0.205
-30	46	186	0.247
-20	82	282	0.291
-10	140	419	0.334
0	229	596	0.383
10	326	830	9.393
20	450	1,110	0.405
30	600	1,490	0.403
40	774	1,890	0.41

アサヒフロン-22過熱蒸気の水への溶解度

温度℃	圧力 (kPa)				
	100	200	500	1,000	2,000
	溶解度 (gR-22/dm ³ H ₂ O)				
10	5.83	11.7	29.2		
20	3.46	6.93	17.3		
30	2.35	4.7	11.8	23.5	
40	1.74	3.49	8.72	17.4	
50	1.37	2.75	6.87	13.7	
60	1.13	2.26	5.66	11.3	22.6
70	0.963	1.93	4.82	9.63	19.3
80	0.841	1.68	4.2	8.41	16.8